

地震災害対策マニュアル改訂版 (抜粋)

平成 23 年 4 月 13 日
 獨協埼玉中学高等学校
 048-977-5441

地震が発生したら

1. 地震発生時別の基本的対応

1) 授業中

教職員	生徒	対策本部
		
1. 的確な指示 <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を守りなさい ● 机の下にもぐりなさい ● 窓から離れなさい ● 上から落ちてくるものに気をつけなさい 2. 教室前後の出入口扉を開き、避難出口の確保をする。 3. ガスを使用している場合は、火を消し、元栓を締める。 4. 電気器具使用の場合は、スイッチを切りコードプラグを抜く。	1. 教師の指示に従い身体を保護する。	放送で左の内容を指示する
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ゆれがおさまる</div>		
5. 負傷者の有無を確認する。 6. 緊急放送が入ったら、指示に従い、速やかにクラス全員をグラウンドに避難させる。その際、教員は教室内に生徒が残っていないかを確認する。 7. 避難したら、担任（または副担任または授業中であった教員）が生徒名をチェックし学年主任（またはそれに代わる者）に報告する。避難できていない生徒がいた場合速やかにその生徒の名前を確認する。	2. 安全な場所に避難する。 （負傷者がいる場合は助け合う）	緊急放送 <ul style="list-style-type: none"> ● 授業担当者はけが人がいないか確認してください ● 全員校庭に避難してください ● 教室内に生徒が残っていないか確認をしてください 氏名表を学年主任に渡し担任に氏名をチェックしてもらおう
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">災害対策本部の設置</div> 8. 報告を受けた学年主任等は、災害対策本部にその内容を報告する。		教員の役割分担をする。校内巡視班に校内を巡視させる。生徒が残っていないか、被害状況はどうか見てもらおう。

2) 休み時間

教職員	生徒	対策本部
		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ゆれがおさまる</div>		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 原則的には、担任が教室の生徒を避難させる。担任が研究日、出張等で不在の場合には、副担任が当たる。 2. 1階にいる生徒は副担任が誘導避難させる（特別教室・選択教室・自習室・生徒会室・小ホール・第1・第2体育館・格技場・食堂・相談室等を含む）。図書館にいる生徒は、図書館職員が誘導避難させる。 3. 負傷者の有無を確認する。 4. 避難したら、担任（または副担任）が生徒名をチェックし学年主任（またはそれに代わる者）に報告する。避難できていない生徒がいた場合速やかにその生徒の名前を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">災害対策本部の設置</div> <ol style="list-style-type: none"> 5. 報告を受けた学年主任等は、災害対策本部にその内容を報告する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体を保護する。頭部を保護、机の下にもぐり机の脚を持つ、身体を低くする。 2. 緊急放送の指示に従い安全な場所に避難する。（負傷者がいる場合は助ける） 	<p>緊急放送を入れる。 的確な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を守りなさい ● 机の下にもぐりなさい ● 窓から離れなさい ● 上から落ちてくるものに気をつけなさい <p>緊急放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ● けが人がいないか確認してください ● 全員校庭に避難してください ● 教室内に生徒が残っていないか確認をしてください

3) 放課後・部活動時

教職員	生徒	対策本部
		
<p>1. 顧問は的確に指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を守りなさい ● 机の下にもぐりなさい ● 窓から離れなさい ● 上から落ちてくるものに気をつけなさい <p>2. ガス・電源等火元を確認する。</p>	<p>1. 身体を保護する。頭部を保護、机の下にもぐり机の脚を持つ、身体を低くする。</p>	<p>緊急放送を入れる。</p> <p>的確な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を守りなさい ● 机の下にもぐりなさい ● 窓から離れなさい ● 上から落ちてくるものに気をつけなさい
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ゆれがおさまる</div>		
<p>1. 生徒の状況を速やかに把握するとともに、生徒を安全な場所に誘導する。</p> <p>2. 学年、学級別に整列させ、学年の教員で手分けして生徒名をチェックし学年主任（またはそれに代わる者）に報告する。避難できていない生徒がいた場合速やかにその生徒の名前を確認する。</p> <p>3. 負傷者の有無を確認する。</p> <p>4. 在校している教職員で手分けして、災害対策本部における緊急の活動を行なう。</p>	<p>2. 緊急放送の指示に従い安全な場所に避難する。（負傷者がいる場合は助ける）</p>	<p>緊急放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ● けが人がいないか確認してください ● 全員校庭に避難してください ● 教室内に生徒が残っていないか確認をしてください
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">災害対策本部の設置</div>		

4) 登下校時

教職員	生徒
	
<p>1. 校内に生徒がいる場合</p> <p>的確な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 頭を守りなさい ● 机の下にもぐりなさい ● 窓から離れなさい ● 上から落ちてくるものに気をつけなさい <p>2. ガス・電源等火元を確認する。</p>	<p>1. 落下物から身を守る。</p> <p>2. バス・電車等に乗車中は、運転手・駅員等の指示に従う。</p> <p>3. 危険と思われる場所には近づかない。</p>

ゆれがおさまる

3. 生徒の状況を速やかに掌握するとともに、生徒を安全な場所に誘導する。
4. 学年、学級別に整列させ、学年の教員で手分けして生徒名をチェックし学年主任（またはそれに代わる者）に報告する。避難できていない生徒がいた場合速やかにその生徒の名前を確認する。
5. 負傷者の有無を確認する。
4. 家庭や学校と連絡を取り状況を報告するとともに、その指示に従う。

災害対策本部の設置